

平成29年に叙勲・褒章を受章された皆さん

◆瑞宝双光章 堀江 文男さん（教育功労）



昭和21年久慈郡北富田国民学校に奉職以来、学校の課題解決と教育活動の改善、充実に大きく貢献されました。教育に確固たる信念と実行力を持って学校教育、地域教育の振興に尽力し、「教育は人なり」を身をもって示され、教育の振興と発展に多大な功績を残されました。退職後は、豊富な知識や経験を教育行政に活かし、地域教育の向上に寄与されました。

◆瑞宝双光章 青木 高博さん（防衛功労）



昭和49年海上自衛隊横須賀教育隊に入隊し、防衛省第205教育航空隊で、学生に対する教育に全力を傾注し、航空電子整備員として必要な基礎知識・技能を習得させ、教範及び教育資料等を積極的に作成し、教育に反映させるなど海上自衛隊の要員教育に大きく寄与。国家防衛の重要性を認識され、国の防衛に多大な功績を残されました。

◆藍綬褒章 清水 一夫さん（統計調査功労）



昭和35年に国勢調査員に任命されて以来、45年の長きにわたり統計調査員として従事され、その責務を確実に遂行されました。平成4年に統計調査功績者として茨城県知事表彰、平成18年には国勢調査功績者として総務大臣表彰を授与されました。さらに、消防団員として活躍され地域防災に尽力されとともに、平成14年から平成18年まで山方4区の副区長と区長を歴任し、地域社会の発展推進に大きく寄与されました。

◆瑞宝双光章 大河 徳納さん（消防功労）



昭和44年に神奈川県川崎市消防局消防吏員として奉職以来、消防業務の積極的な推進・運営の円滑に努め、組織の発展向上に貢献されました。阪神淡路大震災では、緊急消防援助隊として現地に出動し、多種多様な現場活動にあたり社会的貢献を積極的に果たされ、消防人として情熱と努力は高く評価され、内外から厚い信頼を得られました。

◆瑞宝単光章 青柳 幸雄さん（消防功労）



昭和42年に旧御前山村消防団に入団以来、消防発展のため献身的に努力され、防火思想の普及等消防行政の発展に尽力されました。

平成14年には、旧御前山村で初めて総合防災訓練を実施し、消防団長として防災力の向上とコミュニティ活性化に大きく貢献。また、代表を務める長倉七夕まつり協賛会が県功労者表彰を受賞され、地域振興活動への功績は高く評価されました。

◆瑞宝双光章 宇留野 喜久栄さん(自治功労)



昭和21年に東茨城郡伊勢畑国民学校に奉職され、学校教育の振興に献身的な努力をされ、退職後は、大宮町議会議員として優れた政治手腕を遺憾なく発揮し、まちづくりに邁進されました。永年の教育者としての経験を活かし、教育環境の整備と将来を担う子どもたちの健全な心身の育成に多大な貢献をされました。

◆瑞宝双光章 梶 調さん（教育功労）



昭和23年に那珂郡小瀬村立小瀬第一小学校に奉職以来、高邁な教育理念を掲げ、卓越した指導力をもって常に児童を思い教育に専心されました。平成元年には文部省と大宮町教育委員会から学校適応対策校の指定を受け教育実践に取り組み、教育の資質向上に大いに貢献されました。退職後は、大宮町教育委員会社会教育指導員として、地域住民のため献身的に尽力されました。

◆瑞宝双光章 廣木 泉さん（消防功労）



昭和48年に旧大宮山方地区消防事務組合消防吏員として奉職以来、重職を歴任、消防長として消防力の充実強化の推進と職員の教育向上、消防組織の発展向上に貢献。東日本大震災では、災害対策本部を迅速に設置し、緊急事態での迅速な災害対応体制を整備され、優れた判断力を発揮されました。また、豊かな消防経験と知識を遺憾なく発揮し、市の防災業務への多大な貢献は高く評価されました。

◆瑞宝単光章 長岡 修さん（防衛功労）



昭和50年海上自衛隊横須賀教育隊に入隊し、その後、水戸募集案内所広報官に従事されるなど、地元で自衛隊入隊の広報活動にも尽力。豊富な経験と優れた知識・技能をもって、若年隊員に対する教育を積極的に実施し、隊員の能力向上に寄与されました。国家防衛の重要性を認識され、常に責任感を持ち、誠実かつ積極的に職務を遂行され、国家防衛のため多大なる功績を残されました。

◆瑞宝単光章 堀江 隆一さん（消防功労）



昭和45年に旧美和村消防団に入団以来、消防発展のため献身的に努力され、現在の消防基盤を確立。旧美和村消防団団長として、火災防衛訓練及び消防ポンプ操法を含めた規律訓練を行うことで団員の規律向上、士気の高揚を図るなど、献身的な努力をされました。郷土愛の精神と豊富な経験により消防施設の整備、防火思想の普及等消防の発展に尽力され、多大な功績を残されました。

◆藍綬褒章 鈴木 邦彦さん（医療功労）



平成5年より医療法人博仁会志村大宮病院に勤務。医療・介護・福祉分野で住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりを目指して、最先端の地域包括ケアを推進。少子高齢社会及び地域における医療と介護のニーズを踏まえ、「日医かかりつけ機能研修制度」を開始するに当たり、各都道府県医師会にその必要性を訴え、制度の立ち上げと定着に大きく貢献されました。

◆瑞宝双光章 戸井田 清美さん（自治功労）



昭和41年総理府統計局に事務官として入官され、昭和59年沖縄開発庁総務局において、沖縄の振興に尽力され多大なる貢献をされました。長年にわたる統計行政の発展と沖縄振興、青少年の健全育成など広範における業務において尽力され、多大な功績を残されました。

◆瑞宝双光章 野上 演さん（教育功労）



昭和25年久慈郡大子町立大子中学校教諭として奉職以来、卓越した指導力をもって、常に児童生徒に強い愛情を持って教育に専心され、地域に根ざした丁寧で誠意溢れる学校経営に努められました。県北山間地域のへき地小規模や町村の中心部の特色ある学校づくりに全身全霊を捧げた教育姿勢は、地域住民から共感を得、教育のみならず山方野上区の区長としても、地域のために献身的に尽力されました。

叙勲・褒章とは…

栄典として、国家または公共に対して功労のある方へ勲章を授けることを叙勲、社会の各分野における優れた行いや業績のある方へ、褒賞の記章を授与することを褒章といいます。

生存者に対する叙勲・褒章は春と秋の2回行われます。この他に随時授与される高齢者叙勲、外国人叙勲や、公益のために私財を寄付した方への紺綬褒章などがあります。

1/10

新年賀詞交歓会を開催しました

新春恒例の新年賀詞交歓会が、西部総合公園体育館で約300人が参加して盛大に開催されました。

はじめにアトラクションとして、「日本大正琴協会 琴睦会」の皆さんによる演奏が披露され、会場の皆さんは大正琴の柔らかな音色に聞き入っていました。その後、市長や来賓の新年のあいさつに続き、叙勲・褒章受章者への記念品贈呈、市へ寄付等をしていただいた団体や個人への感謝状の贈呈が行われました。

今年は、パラオ共和国からの研修生も参加し、緊張しながらも皆さんに日本語であいさつをしました。

また、会場内には、泉坂下遺跡や常陸大宮さん特産品が展示され、会の最後には、市の特産品が当たる抽選会が開催されました。



▲新年を祝って乾杯